

クリエイティブ京都 M&T

Management & Technology for Creative Kyoto

京都府産業支援センター 公益財団法人 京都産業21 & 京都府中小企業技術センター

春号 2022 Spring

No.171

- 01 令和4年度 公益財団法人京都産業21 事業計画
- 02 公益財団法人京都産業21 設立20周年記念式典開催報告
- 03 京都ビジネス交流フェア2022 開催報告
- 05 シリーズ「京の技」—とみや織物(株)
- 07 シリーズ「京の技」—FKK(株)
- 09 令和4年度 京都中小企業技術大賞 募集
- 10 「海外出願・侵害対策支援事業」の公募について
- 11 京都スタートアップ支援 エンジェルコミュニティ交流会 開催報告
- 12 北部地域産業転換支援事業 企業支援紹介
- 13 後継者の体験談から学ぶ 事業承継セミナー開催報告
- 14 受発注あっせん情報
- 15 技術センターから
 - 令和4年度に開催する 研究会のご案内
 - 令和4年度に開催する 技術セミナーのご案内
- 17 機器紹介
 - 万能材料試験機(最大容量30kN)を導入しました
- 20 技術トレンド
 - 工芸×工業「日本らしい」は普通の生活の中から生まれる
- 21 技術センターから
 - 令和3年度「利用者窓口アンケート」の実施結果
- 22 京都発明協会からのお知らせ
- 23 トピックス
 - 補助金事業のご案内／中小企業等緊急相談窓口の設置／お知らせ
 - 京都府中小企業技術センター 事業運営懇談会を開催しました



P.5

シリーズ“京の技”
「京都中小企業技術大賞及び
特別技術賞」



P.7

シリーズ“京の技”
「京都中小企業優秀技術賞」



P.19

万能材料試験機(最大容量30kN)
を導入しました



P.23

京都府中小企業技術センター
事業運営懇談会を開催しました

Information

コロナ禍でお困りの中小企業
の皆さん、WITHコロナ、
POSTコロナにチャレンジ
の中小企業の皆さん、いつ
でも、お気軽に財団までご
相談を。

総合相談窓口〈お客様相談室〉
電話 075-315-8660

経営相談
〈京都府よろず支援拠点〉



京都補助金情報Web
〈補助金、助成金の検索〉



令和4年度 公益財団法人京都産業21 事業計画

一昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大により事業環境への影響が長期化する中、財団では京都府と連携して、引き続き幅広い業種を対象に企業連携による新たなチャレンジ等へ緊急補助事業等を実施したほか、WITHコロナ時代の販路開拓支援として京都ビジネス交流フェアにて、新たに「KYOTO町工場バーチャルツアー」の特設サイトを設置する等充実強化してきました。

2022(令和4)年度もコロナ禍が続きWITHコロナの対策が求められる一方、ニューノーマル時代に向けた新たな成長軌道を創造していくことが求められています。こうした状況を踏まえ、財団では次の2つを事業の柱として支援してまいります。

I WITHコロナ時代の中小企業支援対策の充実・強化

1. 新型コロナウイルス感染症緊急対策

目下の重要課題である長期化するコロナ禍での事業継続の支援として、原油・原材料の価格高騰や部品不足により厳しい状況にある中小企業の省エネ対策や代替部品の共同開発、様々な社会課題の解決に寄与する新たなビジネス創出等の取組へ約10億円の資金支援を行うほか、早期のビジネスモデルの転換・再構築や円滑な事業継続を支援します。

- 中小企業緊急対応支援事業(補助事業)
- 「産学公の森」推進事業(補助事業)
- 危機克服対応ビジネス創出支援事業(補助事業)
- 金融・経営一体型支援体制強化事業(補助事業含む)
- 「府民躍動」きょうとチャレンジプロジェクト[北部地域産業転換支援事業]
- 中小企業事業引継ぎ支援補助金(補助事業)

現在募集中
詳細は裏表紙をご覧ください。

2. 経営課題の解決支援等

～より顧客ニーズに沿った支援やピンチをチャンスに転換する支援を充実～

- (1) リアルとバーチャルによる販路開拓支援の充実強化
- (2) 固定費削減や生産性向上に向けた各種支援
- (3) 中小企業の強みを生かし、弱みを補完しながら、新たな成長を目指す取組を積極的に支援
 - コロナ対策含め各種補助事業の積極的活用
 - 成長志向企業への伴走型集中支援
- (4) 人材の確保・育成に向けた支援
 - プロフェッショナル人材や兼業副業人材等のマッチング支援を強化
 - 人材育成事業の充実
 - 次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクトの次なるステージへの展開
- (5) ものづくりのみならず、伝統産業、小売・飲食サービス、宿泊など幅広い業種・分野の相談に対応するワンストップ相談体制を強化

II ニューノーマル時代に向けた新たな成長軌道を創造する事業の展開 ～スタートアップ支援など未来への投資～

1. 京都経済センターの中小企業応援センターフロアにおいて、「新しい時代のオール京都の総合支援拠点」としての「交流と協働」を一層加速・拡大するとともに、スタートアップの起業促進や早期成長の支援を強化します。
2. けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)の管理運営を通じて、KICKにおける学術と産業の融合を図るとともに、PoC(実証実験)の機能を強化します。



公益財団法人京都産業21 設立20周年記念式典開催報告

おかげさまで、京都産業21は2021(令和3)年度で設立20周年を迎えました。去る3月10日(木)、京都ブライトンホテルにて設立記念式典を執り行いました。

◆理事長式辞及び来賓祝辞

上田理事長は式辞で、「設立20周年の節目の年を迎えることができたのも、ひとえに、国、京都府、京都市をはじめ関係機関、産業界並びに中小企業の皆様方の温かいご指導とご支援のたまもの」と深く感謝を伝えるとともに、この20年間を振り返り「それまでの価値観や社会の枠組みを大きく変える様々な出来事があり、当財団は京都府と連携して、それぞれの時代に即応した中小企業支援を行ってきた。特に、この先のニューノーマル時代において、ビジネスを継続・拡大していくためには、これまでとは異なる取組も必要であり、今後は財団自身も含め、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進が不可欠である。これからも、その時々々の経済状況に応じて財団の『現場力』を活かした施策を役職員一同、全力で展開していく」と挨拶をしました。

続いて、ご来賓の西脇京都府知事から、「京都産業21は顧客第一を基本理念に掲げ、常に中小企業に寄り添い、中小企業の経営基盤の強化から成長発展に至るまで幅広く丁寧に伴走支援を続けてこられた」との感謝とともに、「コロナ禍で、これまでから抱えていた業種の枠を超えた構造的課題が一層明確になってきている。POSTコロナ社会を見据えて社会課題を解決するためには、多様な中小企業の連携による新しい産業の創造が極めて重要である。財団をはじめ京都市、産業界の皆様と連携して、社会課題の解決、そして様々な社会経済情勢の変化にも、しなやかに対応できる京都産業の育成に努めてまいりますので、引き続きお力添えをお願いしたい」との祝辞を賜りました。



上田輝久 京都産業21理事長



西脇隆俊 京都府知事

◆表彰式

西脇京都府知事及び上田理事長から、多年にわたり財団運営に多大の貢献をされた方々等に感謝状を贈呈するとともに、財団職員表彰を行いました。

【受賞者】

- ◆京都府知事感謝状 小谷 真由美 様(株式会社ユーシン精機名誉会長)
(公財)京都産業21前副理事長

- ◆理事長感謝状
 - ・職員長期派遣企業 京都信用金庫 様
 - ・技術顕彰委員会委員長 杉山 進 様
(立命館大学名誉教授、総合科学技術研究機構上席研究員)
 - ・協力団体 京都異業種交流会 Kyoohoo(キョフー) 様
きょうとWEBショップ研究会 様
きょうとマーケティング研究会 様
ライフサイエンス研究会 様
京都産業21環(リング)の会(KSR) 様

- ◆京都府知事表彰 (公財)京都産業21職員 3名

- ◆理事長表彰
 - ・(公財)京都産業21職員 2名
 - ・職員特別表彰 4プロジェクトチーム



知事感謝状・理事長感謝状
(職員長期派遣企業、技術顕彰委員会委員長) 受賞者の皆様



理事長感謝状(協力団体) 受賞者の皆様

◆記念誌

財団の成立ちから現在までの変遷等をまとめております。是非、ご覧ください。
<https://www.ki21.jp/zaidan/anniversary/kinenshi.pdf>



23rd

ものづくり企業を丁寧に繋ぐBtoBマッチング

京都ビジネス交流フェア2022 開催報告



2日間で計4,000名が参加!

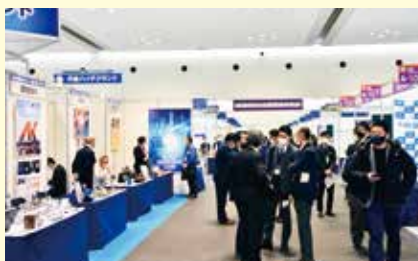
2022(令和4)年2月17日(木)、18日(金)の2日間、京都パルスプラザで「京都ビジネス交流フェア2022」を開催しました。京都府と京都産業21が主催する本フェアは、京都府内のものづくり中小企業の取引先・連携先開拓を後押しすることを目的としたB to Bに特化した京都最大級の展示商談会であり、今年もコロナ禍の中、多くの方々に来場いただきました。

今回は、WITHコロナ社会における市場ニーズや経営環境に対応するため、「企業連携マッチングコーナー」や「産学連携コーナー」を設置し、相談を受け付けることで新たな事例創出を支援しました。

開催にあたっては、ソーシャルディスタンスの確保、アルコール消毒の徹底、ゲート式システムによる入館者の個別検温やリアルタイムでの入場者数管理など、新型コロナウイルス感染防止に万全の対策を講じたうえで実施しました。

展示会

キラリと光る技術と京都特有の知恵を併せ持った京都ものづくり企業や生産性向上ツールを保有する企業が、新たなビジネスパートナーを発掘するため、自社の加工技術や製品開発技術、先端技術、AI・IoT等のソリューションツールを来場者にPRしました。23回目となった今回は130社18団体が参加し、会場では活発に商談される姿が見受けられました。



会場内の様子



商談の様子

バーチャル 京都ビジネス交流フェア2022

リアル展示会との併催で、2月1日(火)~28日(月)の期間、バーチャル展示会を開催しました。リアル展示会に出展する企業・グループの情報がオンライン上で事前に確認でき、コンタクト・見積等商談もできるため、リアル展示会での実物確認等とあわせて短期間でミスマッチなく成果につながったとの声が寄せられました。また、テレワーク・出張制限等で来場できない方やこれまで遠方や多忙で参加できなかった事業者の新規開拓にもつなげることができました。

※アクセス件数2,673件 商談件数248件



KYOTO 町工場バーチャルツアー

ビジネス交流フェア2022との併催で、KYOTO町工場バーチャルツアーの特設ページを開設しました。出展企業8社の工場内、事務所内の雰囲気を3Dビジュアルや画像、動画でご紹介しています。お使いのブラウザからウォークスルー形式で工場見学の疑似体験が可能です。ぜひ一度ご覧ください。

◆会場URL: <https://kyoto-vrfactory.jp/>

※京都ビジネス交流フェアHP内から閲覧できます。

工場俯瞰図



マッチングステーション

出展企業の特長を把握した財団スタッフが、来場者のものづくりニーズに応じて最適なビジネスパートナーの探索をサポートし、2日にわたり数多くのマッチングを行いました。

会期中、相談コーナーには複雑形状の金属加工や装置の設計・製作、開発委託などの案件が持ち込まれ、課題解決に向け真剣な面持ちで面談する姿が見られました。利用された方からも「ガイドブックに掲載されている内容以上の情報をいただいたお陰で、希望どおりの企業と面談できた」などの声が寄せられました。



関西・四国合同広域商談会

今年で12回目の開催となる関西・四国合同広域商談会では、新規外注先や協力先を求める全国の発注企業と、新規取引先の開拓を目指す全11府県の受注企業が会場で個別面談を行い、今後の取引拡大に向け活発な商談が行われました。また、今回からは出張規制等により対面での商談ができない企業にもご参加いただけるよう、オンライン商談会を初めて併催しました。

リアル商談会の参加企業からは「コロナ禍で客先訪問が出来ない中、対面での商談ができてよかった」との感想が寄せられました。



京都中小企業技術大賞コーナー

本コーナーでは技術開発に成果を挙げ、京都産業の成長に貢献した2021年度受賞企業7社によるパネルや製品の展示を行い企業認知度向上を図りました。

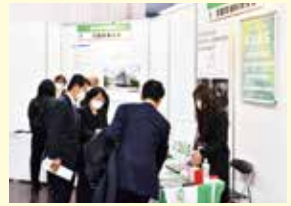
現在、2022(令和4)年度の募集案内を行っています。詳しくは9頁の「令和4年度京都中小企業技術大賞」候補募集をご覧ください。



企業連携マッチングコーナー・産学連携コーナー

企業連携マッチングコーナーは、新たなビジネスの創出に取り組む企業グループ9事例を展示・紹介するとともに、連携に係るマッチング等の相談に対応しました。

また産学連携コーナーでは、関西地区の21大学・高専が産学連携事例や研究シーズの展示を行い、参加者からは「共同研究につながりそうな商談ができた」との声をいただきました。



◆出展者の声◆

A社(切削加工)

多くの企業に当社を知っていただきたいの思いから、初めて出展を決めました。財団HPの開催告知で当社の名前を見つけ、連絡して下さったお客さまもあり、改めてこの展示会の影響力の大きさを実感しました。また、当日は多くの来場者に製品を見ていただき、名刺交換できたことに加え、他の出展者と親交を深められたことも良かったと思っています。

B社(熱処理・塗装)

工場をお持ちの企業に販路を広げたいと考えている当社にとって、数多くのものづくり企業が来場・出展する「京都ビジネス交流フェア」は、またとないビジネスチャンスです。実際に見ていただくことで、たくさんの方に興味を持っていただけたと手ごたえを感じています。今回の出会いをぜひ次につなげたいと思います。

C社(板金加工)

新たなお客さまとの出会いを期待し、出展しました。出展者同士が交流できるのも「京都ビジネス交流フェア」に参加するメリットです。ビジネスで接点のない他の業種の方とお話しし、コロナ禍の対策や景気の動向など、得難い情報を交換することができました。また他のブースを見て展示やPRの方法なども参考になりました。

◆来場者の声◆

切削加工業(兵庫県)

「京都ビジネス交流フェア」は、京都のものづくり企業を一挙に見られる絶好の機会です。市場調査と情報収集も兼ね、新規取引先を探そうと来場しました。会場を回り、取引につながりそうな数社と話をすることができました。またコロナ禍でなかなかお会いできなかったお客さまや取引先ともご挨拶することができ、来た甲斐がありました。

製造業(京都府)

来場してすばらしいと思ったのは、「マッチングステーション」をはじめ商談スペースが充実していることです。ブースで製品を見た後、個室スペースに移動し、図面や資料を広げながら周囲を気にせず踏み込んだ話をすることができました。今後の取引につながる具体的なところまで商談を進めることができ、大きな収穫がありました。

商社(大阪府)

これほど多くの京都のものづくり企業一度に見られる機会があることを初めて知り、来場しました。広い会場を見て回るだけでも多くの発見がありましたが、各企業のブースでは思った以上にじっくり話を聞くことができ、次につながる手ごたえを得ることができました。新型コロナウイルス感染症対策も講じられており、思い切って足を運んで良かったです。

優れた技術・製品の開発に成果をあげ
京都産業の発展に貢献している
中小企業を紹介

京シリーズの技

第58回

代表取締役社長
富家 靖久氏



令和3年度「京都中小企業技術大賞及び特別技術賞」を受賞された企業の概要、受賞の対象となった技術・製品について、代表者にお話を伺います。

とみや織物株式会社

オリジナル織機の開発により、 壁面装飾にも対応可能な広幅の写真織の製織技術を確立

意匠制作から自社工場による製織まで
社内一貫体制のもと技術革新に注力

当社の創業は、明治初年頃と伝え聞いています。西陣織の中心地として栄えた「千両ヶ辻」、現在の今出川大宮の辺りで織物問屋を営んでいました。戦前頃より、西陣織の織元としての活動をスタート。繊維産業が隆盛した戦後のいわゆるガチャマン時代には大きな発展を遂げました。

当社の特徴の一つは、そうした中、一貫して積極的な技術革新に取り組んできた点にあります。紋紙をフロッピーディスク化したダイレクトジャカードはもちろん、柄の織細さの決め手となるジャカード織機の口数も、約30cmの袋帯幅から経糸(たて)と緯糸(よこ)の交差する点に対して、柄を表現する緯糸の1点が400ある400口から、600口、900口と、最新の織機をいち早く導入してきました。

また、その過程において、分業制が根付く西陣では外注することが普通だった意匠と製紋の工程を内製化したこと、自社工場を充実させたことも当社の強みとなっています。バブル崩壊以降の厳しい時代においてもその体制を貫いてきたことで、独自に製織技術の研究・開発を推し進めることができました。

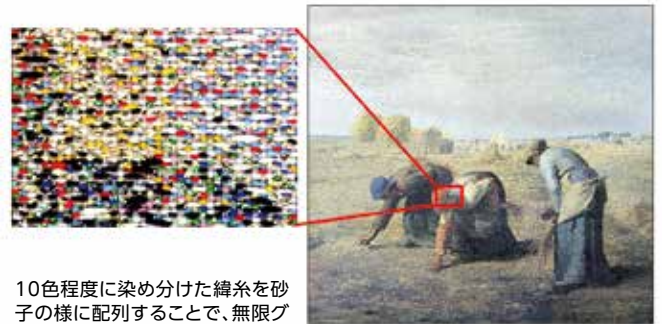
そして今から約20年前、西陣織の技法であるつづれ織を応用し、経糸と緯糸の交差する点をより細かく配置することによって精細に織る技術を進化させ、写真のような織物の製織技術を確立。製紋工程の半自動化を図り、1点からのオーダーにも対応を可能とした点も、量産を大前提としていた西陣織としては画期的でした。それらを評価いただき、2003(平成15)年、「無限の色調表現を可能にした先染ジャカード織の新技术で商品開発を行う」という事業テーマでオスカー認定を受けることができたのは、高付加価値化を追求し続けてき

たからこそだと思っています。

インテリア商材の展開を目指して
幅1mという広幅の写真織にチャレンジ

現在自社工場では、額装品や掛け軸をはじめとする美術織物の製造を中心に行っています。国会議事堂に掲げる肖像画などの「織額」のオーダーに応じているほか、寺社や作家の遺族との契約に基づき、仏像・名画の織物の制作・販売も展開。和装市場が縮小する中、年間数万点の納品は、経営における新たな柱となりました。

さらなる販路拡大に向けて考えたのは、壁面装飾品の制作です。帯を織る織機では幅が30~40cmに限られるため、2019(令和元)年より、1m以上の広幅の写真織を実現するための技術開発に着手しました。



10色程度に染め分けた緯糸を砂子の様に配列することで、無限グラデーションを生み出す。

袋帯「落穂拾い(ミレー)」

最も苦労したのは、織機メーカーとともに取り組んだ広幅対応のオリジナル織機の開発です。現在の日本では帯を織るための織機は造られていないため、ベースにしたのは通常の西陣織と比べ高速で織ることができるレピア織機でした。洋服など



広幅の織機で織り上げた、試作品のアートパネル

の生地を効率よく織るために広幅・高速仕様となっているレピア織機で、当社の「西陣織の技術をベースとした、ゆっくり丁寧に付加価値の高い製品を織り上げたい」という思いをいかに実現するのか。西陣で扱われている従来の小幅織機とは特性が全く異なるため、一筋縄ではいきません。約1年にわたる試行錯誤の末、2020(令和2)年、特殊



広幅の写真織に対応したオリジナル織機

な開口装置を組み合わせることにより、幅1mの写真織に対応する世界にただ一つの織機を完成させることができました。

人々の日常生活と西陣織をつなぎ 業界全体の発展に寄与したい

オリジナル織機はその後も改良を重ねており、幅1.5mまで対応可能となりました。課題は、シルクでは内装材として求めら

れる防災性能を実現できないということ。現在、合成繊維を用いた写真織の開発を進めています。並行して、ホテルや商業施設などへの採用を見据えた意匠の開発にも取り組んでいく予定です。

伝統工芸を取り入れたハイエンドなインテリアへの潜在的なニーズがあり、それに応える製品が現在の市場にないとするならば、そこにこそ当社の存在意義があるのではないかと考えています。目指すのは、西陣織の新たな販路として、壁面装飾という市場を開拓・確立・拡大することを通して、人々の日常生活と西陣織の接点を見出すこと。今後、販路開拓を推進していく上で、今回の「京都中小企業技術大賞」と「京都中小企業特別技術賞」のダブル受賞が後押しになると確信しています。オンリーワンの技術を有する企業としての気概を持って挑み、業界全体を牽引する存在となれるよう努めていく所存です。

技術者からひとこと



専務執行役員 坂本 容一 氏

写真織は、経糸と緯糸の交差する点の配列が細かい分、織物の幅の約1.4倍もの長さの緯糸を打ち込まなければなりません。レピア織機は高速な上に開口部が狭いのですが、棒刀・伏せなど経糸を持ち上げる装置を改造することで、長い緯糸を通すために必要な開口時間を確保することに成功しました。現在、シルクから合成繊維への素材変更に伴い、織機の設定を一から見直しているところです。受賞の喜びを力に、実現に向けて力を注いでいきたいと思ひます。

Company Data

- 代表取締役社長／冨家 靖久
- 所在地／京都市上京区一観音町428番地
- 電話／075-463-1234
- 創業／明治初年頃
- 事業内容／西陣織帯地製造業、着物織物製造販売
- ホームページ／<http://tomiya.biz/>



●お問い合わせ先／(公財)京都産業21 市場開拓支援部 新市場支援グループ TEL:075-315-8677 E-mail: create@ki21.jp





SHIMADZU
Excellence in Science

科学技術で社会に貢献する。

島津製作所がすべきこと。

医療現場に必要な検査試薬・装置を届けること。

感染症に立ち向かう、技術や製品の研究開発を進めること。

ワクチン・治療薬の開発をサポートすること。

私たちは、科学技術の力で、医療の最前線を支援します。

感染症に対するSHIMADZUの取り組み

より迅速・簡便なウイルス検査の実現に貢献



PCR検査用試薬

移動式X線撮影装置で肺炎診断をサポート



回診用撮影システム

治療薬候補の研究・開発を支援



液体クロマトグラフ質量分析計



全自動リアルタイムPCR検査装置

株式会社 島津製作所 Shimadzu Corporation

<https://www.shimadzu.co.jp/covid-19/>

優れた技術・製品の開発に成果をあげ
京都産業の発展に貢献している
中小企業を紹介

京シリーズの夜

第59回



代表取締役社長
川田 一力 氏

令和3年度「京都中小企業優秀技術賞」を受賞された企業の概要、受賞の対象となった技術・製品について、代表者にお話を伺います。

FKK株式会社

国内唯一LEDフレキシブルライトの一体押出成形装置を活用、蓄光機能を搭載したLED照明を開発

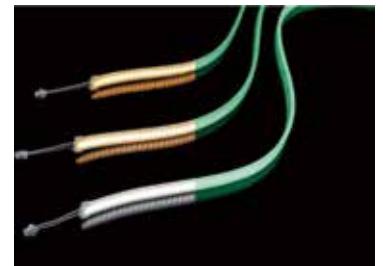
点火プラグ・ヒータの製造業から始まり LED照明機器の開発・製造へと事業を展開

当社は、1954(昭和29)年に創業し、農業用発動機の点火プラグの製造から事業をスタートさせました。以来、石油・ガス機器の点火プラグや暖房機器・給湯機器の点火ヒータ、フレームロッドなどに品揃えを増やしてきました。原材料であるセラミックの調達先として早くから中国の取引先を開拓し、高品質な製品を手ごろな価格で提供できる生産体制を構築。国内市場に深く根を下ろし、当社を支える主力事業に成長させました。2010(平成22)年からはヨーロッパへ販路を拡大。ベルギー、イギリスなどに代理店を設立し、販売数を大きく伸ばしています。さらに北米にも代理店を設立し、海外展開を加速させています。

一方、1998(平成10)年から新たな事業として始めたのが、電飾看板用スリムライトパネルの販売です。当初は販売だけでしたが、お客さまのご要望にきめ細かく応えるため、設計から製造・販売まで一貫して自社で手がけるようになりました。事業成長の追い風になったのがLEDの普及です。お客さまとの信頼関係を築き、最新のニーズを掴むとともに、それをカタチにする開発力で、デザイン性・意匠性に富んだ多彩なLED照明機器を製造。化粧品や衣料品の店舗を筆頭に、さまざまな商業施設や店舗、ホテルでご採用いただいています。中でも独自の技術で生み出した製品が、LEDフレキシブルライトです。2017(平成29)年、日本で唯一となる「LEDフレキシブルライト」の一体押出成形設備を導入。LED基板とシリコン樹脂を同時に押出成形することで、長さや形状を自在に変えられるLEDライトを開発し、製造工程の特許を取得しました。

事業は順調に伸びていたものの、今後は新たな価値を持った製品を開発し、社会課題の解決に貢献していかなければならな

いと、常々考えていました。その思いから開発したのが、令和3年度京都中小企業優秀技術賞を受賞した「蓄光機能搭載LEDフレキシブルライト」です。



柔らかく曲がる蓄光機能搭載のLEDフレキシブルライト

夜間・停電時でも照らせる蓄光機能搭載の照明を開発

開発の発端は、2018(平成30)年7月に起こった西日本豪雨災害でした。創業者の故郷岡山が大きな被害を受けたことで、夜間災害や停電に対する問題意識が芽生えました。決定打は、あるお客さまを訪れた時のこと。壁に掲示されていた「防災」のポスターを見てひらめいたのが、「夜間災害時や停電でも照らせる蓄光照明」でした。その場でお客さまに「防災用の製品を開発中です」と伝えてしまい、打合せ後すぐに開発責任者に連絡。3日後には最初のサンプルを作り上げるという開発メンバーの迅速な対応が、開発への大きな一歩になりました。

製品化に不可欠だったのが、LEDフレキシブルライトの一体押出成形技術です。押出成形工程でシリコンに粉末の蓄光顔料を練り込み、LEDライトと一体になった蓄光照明を実現。これにより平常時はLEDライトとして、停電時や消灯時には蓄光照明として機能する製品を開



LEDフレキシブルライトの押出成形装置

発しました。

その特長は、圧倒的な初期燐光輝度。既存の蓄光塗料や蓄光テープは、蓄光(燐光)輝度が環境に左右されるため、十分な明るさを得られないことが少なくありません。それに対して本製品は、LED照明を点灯して、60秒間点灯すれば、その後消灯しても10時間は蓄光部を視認できる輝度(3mcd/m²以上)を持續させることに成功しました。



(左)日常の照明。(右)夜間は蓄光照明で視界を確保。

しかし製品化に至るまでには、約1年もの期間を要しました。最適な蓄光材料の検討から始め、次いで蓄光顔料の配合比率を繰り返し試作して確立。配合比率が少ないと十分な燐光輝度を得られず、また多いと蓄光顔料の影響を受け、通常時の照明の光が緑がかった色になってしまいます。1%単位で含有量を検証し、最適な配合量を追求しました。さらに困難を極めたのが、量産工程の構築です。蓄光顔料を均一に混練できるかなど、さまざまな条件を検証し、ようやく安定した品質で生産できる体制を確立しました。

防災や住宅など新たな分野へ販路拡大に挑戦

完成した製品は、一般社団法人防災安全協会の「防災製品等推奨品」に認定されたほか、昨年はいくつもの技術発明関連の表彰を受けました。

今後の課題は販路開拓。防災市場は当社にとって新たな挑戦です。将来は消防認定への適用を目指すなど、社会の防災に寄与したいと考えています。また住宅分野への展開を視野に入れ、2020(令和2)年9月、福知山市に「FKKルミナスギャラリー」を竣工しました。住宅メーカーや住宅設備メーカーの

方々を招き、住宅内での蓄光性能や自社の照明機器を体感していただき好評を得ています。京都中小企業優秀技術賞受賞によって当社の技術力や製品が高く評価されたことが、今後の販売促進につながればと期待しています。さらに現在は、紫外線などさまざまな波長のLEDと蓄光性能を組み合わせ、これまでにない機能を持った照明の可能性も模索しています。今後、「蓄光」を強みとして新たな付加価値を創出し、社会貢献につなげていきたいと考えています。



製品を体感できるルミナスギャラリー

開発者からひとこと



LED事業部 技術開発本部 本部長/常務取締役 吉田 和貴 氏

当社のあらゆるLED照明機器の開発・製造に携わっています。LEDフレキシブルライトの押出成形装置の導入においても、設計から開発まで責任者として担当しました。今回、これまでにない製品をゼロから開発し、生産体制を確立するまでには数えきれないほど困難にぶつかりました。特に大変だったのが、高い品質を安定して確保すること。苦勞した分だけ、完成した時には大きなやりがいを感じました。

Company Data

- 代表取締役社長/川田 一力
- 所在地/京都市南区吉祥院堤外町11番地
- 電話/075-322-5127
- 創業/1954(昭和29)年2月
- 事業内容/照明・ディスプレイ用LED照明の開発・製造・販売、および石油・ガス・燃料電池機器用点火プラグ・フレームロッド・点火ヒータの開発・製造・販売
- ホームページ/<https://www.fkk-corporation.com>



●お問い合わせ先/ (公財)京都産業21 市場開拓支援部 新市場支援グループ TEL:075-315-8677 E-mail:create@ki21.jp

TOWA株式会社

真価に挑む

京都発 ▲ 世界へ

半導体モールドング装置 世界シェア NO.1

TOWA は国内主要拠点全てで使用電力を再生エネルギーに切り替えました。

販路開拓
企業連携・
産学連携
人材確保
補助金・
助成金
設備導入
創業・
事業承継
相談・
専門家派遣
経営革新・
新事業展開
経営全般
他
機械設計・
加工
材料・
機能評価
化学・環境
電気・電子
食品・バイオ
表面・
微細加工
デザイン
技術全般
他

令和4年度 京都中小企業技術大賞

独創性のある優秀な新製品・新技術を開発された皆様へ 是非、ご応募ください

募集!

◆募集期間／令和4年3月1日(火)～4月28日(木)

京都中小企業技術大賞は、技術開発に成果を挙げ、京都の産業に貢献した中小企業の功績を讃える制度です。平成5年からこれまでに延べ194社を表彰し、受賞企業には、京都府知事から表彰状、財団理事長から表彰楯および副賞を授与するとともに、記者発表、情報誌や展示会での広報など、企業の認知度向上に向け支援します。

このたび、令和4年度の大賞企業を募集しますので、下記の要領でご応募ください。

応募資格

- ①京都府内に本社を置く中小企業であること。
- ②対象とする技術又は製品の売上実績があること。

応募方法

「募集要項」「申請書」を財団ホームページよりダウンロードし、対象とする「技術又は製品」を一つ特定の上、応募ください。

●財団ホームページ：

<https://www.ki21.jp/technology/r04/boshu/>



【令和3年度受賞企業】

技術大賞・特別技術賞：とみや織物(株)

優秀技術賞：FKK(株)、(株)シゲノ、(株)積進、(株)大興製作所

マイキャン・テクノロジーズ(株)、マイクロニクス(株)

[五十音順]

これまでの表彰企業は、ホームページで紹介しています。

⇒ <https://www.ki21.jp/technology/>



●応募先：〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

京都府産業支援センター内

(公財)京都産業21

市場開拓支援部 新市場支援グループ

●Eメール：kensho@ki21.jp

※Eメールには添付ファイルの容量制限(5MB)がございます。

○必要書類：申請書、直近3か年の決算書類

○任意書類：企業紹介や対象となる『技術・製品』についての説明資料等

審査基準

- 【1】独創性
- 【2】時宜に適し優秀
- 【3】研究開発の積極性
- 【4】健全な経営
- 【5】他企業の模範

選考結果

令和4年11月頃に書面にて応募全企業に選考結果を通知する予定です。



●お問い合わせ先／(公財)京都産表21 市場開拓支援部 新市場支援グループ TEL:075-315-8677 E-mail:kensho@ki21.jp



人と科学の 「未来を拓く」。

1979年の設立以来、半導体と材料の研究開発で最先端の薄膜技術を培ってきました。エレクトロニクス分野だけでなく、ライフサイエンス分野でも活かされています。これからも、薄膜技術のバイオニアとして世界の産業科学の未来を拓きます。

samco
PARTNERS IN PROGRESS

サムコ株式会社
www.samco.co.jp

「海外出願・侵害対策支援事業」の公募について

京都産業21では、知的財産権を活用し、海外の出願国において事業展開を行う府内中小企業者の皆様のため、海外出願・侵害対策支援事業費補助金(外国出願支援事業)を実施します。

【内容】

外国特許庁への特許、実用新案、意匠、商標及び冒認対策商標の出願に要する経費の一部を補助します。

【公募】

1 受付期間

令和4年5月9日(月)～5月25日(水)

2 対象企業・対象案件

- 京都府内に本社を置く中小企業者等(みなし大企業を除く)
地域団体商標に係る外国出願の場合は、事業協同組合その他の特別の法律により設立された組合、商工会、商工会議所及びNPO法人
- 申請書提出時点において、既に日本国特許庁に出願済であって、以下のいずれかに該当する方法により、交付決定日から**令和4年12月20日(火)**までに外国特許庁へ同一名称かつ同一内容の出願を行った上で弁理士等に支払を完了し、**令和5年1月20日(金)**までに京都産業21へ実績報告書を提出予定であること。

- ・パリ条約等に基づき、優先権を主張して外国特許庁への出願を行う方法
- ・特許協力条約に基づき、外国特許庁への出願を行う方法(PCT出願を同国の国内段階に移行する方法)
- ・ハーグ協定に基づき、外国特許庁への出願を行う方法
- ・マドリッド協定議定書に基づき、外国特許庁への出願を行う方法

- 交付決定前に外国出願した案件は対象となりません(弁理士等への発注を含む)。また、交付決定前に発生した費用(例えば翻訳費)についても補助対象になりません。

3 補助内容

- 採択予定件数：特許10件 実用新案1件 意匠1件 商標及び冒認対策商標5件
- 補助率：1/2以内(千円未満は切り捨て)
- 1企業の補助金総額(1会計年度内：消費税等を除く) 300万円以内/年
 - ・1企業の上限額は、京都産業21の他に日本貿易振興機構(JETRO)・京都高度技術研究所(STEM)で各々採択された場合はその合計額となります。
- 1出願別の補助金額(1会計年度内：消費税等を除く)
 - (イ)特許 150万円以内/件
 - (ロ)実用新案、意匠又は商標(冒認対策商標は除く) 60万円以内/件
 - (ハ)冒認対策商標 30万円以内/件
- 補助対象経費：
 - 外国出願料 ●現地代理人費用 ●国内代理人費用
 - 翻訳費用 など
 - ・日本国特許庁への出願経費及び消費税、海外付加価値税(VAT)等は対象外です。

4 審査及び採択

- ・1次審査(書類審査等)
- ・2次審査(プレゼン審査等)：6月21日(火)(予定)
- ・採択事業者決定：6月下旬～7月初旬(予定)

5 提出方法

- ・締切日時：5月25日(水)午後5時必着
- ・提出書類：申請書及び添付書類(公募要項等を参照)
- ・提出方法：持参、郵送、宅配便、電子メール
- ※応募をお考えの場合は、事前にご連絡ください。

●提出先及び問合せ先／(公財)京都産業21 事業成長支援部 TEL：075-315-9425 E-mail：sangaku@ki21.jp

デジタルで新サービス

京都新聞ID

**DXの推進に
リモートワークの向上に**

京都のビジネスニーズに応える経済サイト「**京都新聞ON BUSINESS**」も登場！
京都新聞ウェブサイト、朝刊電子紙面(京都・滋賀の全地域版を含む)で情報収集を！**自社をサイトでPRできる法人特典もあります。**

京都新聞 ON BUSINESS





法人フルプラン
京都新聞ウェブサイトの有料記事、朝刊の電子紙面(紙面ビューアー)「京都新聞ON BUSINESS」に掲載の有料記事が読み放題のお得なプランです。

経済サイトプラン 「京都新聞 ON BUSINESS」掲載の有料記事が読み放題のプランです。※個人様向けプランもご用意。



ご案内とお申し込み

🔍 **京都新聞オンビジネス** で検索

<https://www.kyoto-np.co.jp/list/biz/about>

▼お問い合わせはこちら

075-241-5998 (平日午前10時から午後5時)

✉ customer@mb.kyoto-np.co.jp

京都スタートアップ支援 エンジェルコミュニティ交流会 開催報告

京都のディープテックを中心としたスタートアップ企業と、京都の企業経営者やエンジェル投資家で構成される「エンジェルアドバイザー」マッチングをする「京都スタートアップ支援 エンジェルコミュニティ交流会」。2021(令和3)年3月に第1回を開催し、現在までに計4回開催しました。合計25企業が登壇し、協業・業務提携や資金調達の成果を生むことができました。

第2回開催概要

日時：2021(令和3)年8月4日(水)
場所：京都リサーチパーク バズホール
会場参加者：45名 登壇企業：6社



第2回開催報告は
コチラ



(写真左から)
WINDシミュレーション株式会社
株式会社マリ
emol株式会社
株式会社80&Company
ブルーオペテック株式会社
メトロウエザー株式会社

(テーマ名)
『効率が高く暴風対応可能な「迎角&翼径制御式の垂直型風車」のプロトモデル開発』
『世界の睡眠中の問題を非接触で解決』
『人の心に寄り添う、AIメンタルヘルスケア』
『オープンイノベーションによる新規事業開発の実務部隊』
『独自光学技術を活用したAR(拡張現実)商品のご紹介』
『小型高性能ドップラー・ライダーによる風況観測を活用した社会課題の解決』

第3回開催概要

日時：2021(令和3)年12月3日(金)
場所：京都東急ホテル
会場参加者：51名 登壇企業：6社



第3回開催報告は
コチラ



(写真左から)
Ubuntu Hub
株式会社DeMiA
株式会社Famileaf
株式会社キャリアーク
株式会社スクリエ
株式会社ディーピーエス

(テーマ名)
『"Ubuntuハブ" ブロックチェーンを活用した学習ネットワークで生活を変革する』
『独自教育システムによる実践ベースの大学生エンジニア排出プラットフォーム』
『妊婦向け体調管理アプリ「hug+u(はぐゆう)」で妊婦生活の包括的な支援』
『世界初の超高画質360度VRカメラシステムが、新たな世界を切り開く』
『スマホで口の中を撮影できるミラーを用いた、オンライン歯科診療プラットフォーム』
『あきらめている排水・排液中の微量濃度パラジウムの回収を可能にし、有価にします』

第4回開催概要

日時：2022(令和4)年3月25日(金)
場所：ホテルグランヴィア京都
会場参加者：43名 登壇企業：6社



第4回開催報告は
コチラ



(写真左から)
大阪ヒートクール株式会社
クアドリテックス株式会社
Symbiobe株式会社
DeepForest Technologies株式会社
ティエムファクトリ株式会社
XORBI

(テーマ名)
『"かゆみ"を解決する温冷触覚インタフェース』
『心拍変動解析AIによる医療DX』
『空気を資源化するバイオテクノロジーによる資源循環型物質生産プラットフォーム構築』
『ドローンとAIで森林の状況を可視化し、森林保全を加速する』
『透明断熱材SUFAの事業化』
『多人数参加型・マルチバース・パラレルワールドの要素を持つ世界初のAR・VRゲーム「XORBI」の開発』

第2回からは、登壇者が製品等を展示できるブースを新たに用意し、登壇者の魅力をより伝えられるようになりました。

第3回では京都府が主催したジャパンハッカソンで最優秀賞となった『Ubuntu Hub』(途上国の教育環境整備のための無線ネットワークサービス)の事業化に取り組むパトリック氏がプロトタイプ作成のための資金調達を目指し登壇。

第4回では登壇要件の範囲を広げ、京都以外のディープテック関連企業も登壇。京都の企業経営者やエンジェル投資家をはじめとした参加者と交流し、今後の事業アドバイスや協業・資

金調達について意見交換することができました。

本会がディープテックスタートアップ企業の登竜門となるよう、次年度も引き続き取り組んで参ります。



「府民躍動」きょうとチャレンジプロジェクト

北部地域産業転換支援事業 企業支援紹介



2021(令和3)年からスタートした「府民躍動」きょうとチャレンジプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が地域経済や雇用に深刻な影響を及ぼす中、地域雇用の再生に向けてオール京都体制で支援しています。本プロジェクトのひとつ「北部地域産業転換支援事業」のセミナー・ワークショップに参加した企業の取組事例を紹介します。

セミナーでは、企業や商品のブランディング手法や新潟県燕三条地域の産業ブランディングについての講座を、また、ワークショップでは、ふるさと納税返礼品の開発をテーマに、各企業のアイデアに対して参加者から様々な意見が出され、新たなビジネスの事業化に向けた機会となりました。

ワークショップから新たな展開へ

ちりめん工房 糸武は、与謝野町で刺繍半襟や髪飾りなどの和装小物の製造・販売を行っている企業です。主力製品の多くは振袖用で、需要に限られていることが課題となっており、近年はちりめん工房 糸武の半襟WEBサイト「ちりめん工房 結寿の舗」を立ち上げ、インターネット通販を始めるなど、新たな販売促進方法を模索しており、今後の自社製品のブランド化と情報発信、販路拡大について学びたいと、ワークショップに参加されました。



同社の強みは技術力が高く、デザインから製作まで可能なものづくりであり、これを活かし、高価格でも購入してもらえる男性向け商品のブランド化を展開してはといった意見をヒントに、最近、アニメやゲームで流行している戦国武将をモチーフにした男性用ラベルピンの開発、ブランド化を進めておられます。

舞鶴地域で造船業に従事された創業者が2020(令和2)年に創立したアール・テック・サービス株式会社は、金属製品の設計から製造・加工まで行う会社です。近年は造船で培った金属加工技術を生かし、オーダーメイドの金属製家具「アイアン家具」の製造販売をはじめ粉体塗装へも事業展開されていま



アール・テック・サービスのアイアン家具

す。ブランディング戦略や販売拡大のヒントを得て、新事業を軌道に乗せたいと参加されました。

「造船の舞鶴」としてのブランド力や「造船業出身」というストーリーを活かしたものづくりが有効ではないかといった意見をもとに、船をイメージさせるブランディングや製品デザインを目指して、新たなアイテムのアイアン家具づくりや色々なカラー・形の粉体塗装を施した商品マットの開発を進めておられます。



粉体塗装独特の色あいや質感を活かしたアール・テック・サービスの写真撮影用の「映えボード」と糸武の「つまみ細工髪飾り」

両社ともに新製品開発を足がかりに、将来に向けて新事業の成長を目指しています。

Company Data

ちりめん工房 糸武

- 代表 / 糸井 伸一
- 所在地 / 京都府与謝郡与謝野町岩滝413-1 ●電話 / 0772-46-2551
- 事業内容 / 半襟、和装小物等製造業
- ホームページ / <https://chirimennkoubutotake.com>



アール・テック・サービス株式会社

- 代表取締役 / 大江 亮也
- 所在地 / 京都府舞鶴市下福井391-1 ●電話 / 0773-60-4727
- 事業内容 / 金属製品の製造販売、金属加工品の設計・作図、アイアン家具の製造販売、メンテナンス工事、機器設置工事、施設管理、製品塗装、粉体塗装、金属加工品の輸入販売
- ホームページ / <https://kyoto-rtcs.co.jp>



●お問い合わせ先 / (公財)京都産業21 北部支援センター TEL: 0772-69-3675 E-mail: hokubu@ki21.jp

いま世界で楽しまれているソフトは 〈トーセ〉かもしれない。

Alaska
21:20

Kyoto
15:20

New York
01:20

Cairo
08:20

トーセは、エンタテインメントコンテンツを開発する
日本最大級の企画提案型、受託開発企業です。

地球のココロおどらせよう。

株式会社 トーセ

京都本社 / 〒600-8091 京都市下京区東洞院通四条下ル <https://www.tose.co.jp/> 東証一部上場 4728

後継者の体験談から学ぶ 事業承継セミナー開催報告

会場・Webの
ハイブリッド開催

2022(令和4)年1月19日、北部産業創造センターにおいて(京都北部信用金庫サテライト5会場及びWebでの参加も可能)、京都北部信用金庫と共催でセミナーを開催しました。

何をすべきかわからない事業承継、そんな事業承継を一步前へ進めていただくため、京都府内で事業承継をされた後継者の方々に体験談をご紹介いただきました。

開催概要

①事業承継の現状について

京都産業21のコーディネーターから、支援のなかで「後継者がいない」「後継者が決められない」「後継者はいるが事業承継に向けて何をすすめたらよいかかわからない」といった相談があるとの説明がありました。

②【体験談1】株式会社アカツキ製作所

親族内承継の事例として同社 代表取締役 小寺建樹様から『事業継続をあきらめない』をテーマにご自身の経験をお話しいただきました。引継ぎにあたり、経理・財務を徹底的に勉強して社内外での信頼や説得力を増すよう取り組まれたとのことです。

③【体験談2】株式会社石材 都

第三者承継の事例として同社 代表取締役 吉田健次様から『社長の想いを継承する』をテーマに実際の体験をお話しいただきました。事業承継における課題については京都産業21の支援を受けて進められ、ご自身が後継者として仕事をするなかで、先代社長から承継をされました。

④パネルディスカッション

「承継を決意した決め手」「引継ぎの時に第三者から受けた支援」など複数のテーマについてご意見をいただきました。

京都産業21が運営するHP「京都起業～承継ナビ」では後継者不在の後継者募集企業様と承継希望者様とのマッチング支援を行っております。ご相談をお待ちしております。詳細はHPをご覧ください。

<https://www.jigyo-keizoku.jp/>



事業承継を控えた社長や後継者、後継者不在の社長をはじめ、会場で7名、Webで41名の方にご参加いただきました。

参加者の声

- 事業承継に取り組んでいる最中で、まさに経験された方の事例を聞く事ができ、やるべき事、課題点等が改めて整理できた。
- これから増えるであろう第三者承継の話が聞けたのは良かった。
- 承継というなかなか尋ねにくい事例の発表を聞くことができよかった。

セミナー動画を
配信中です →



●お問い合わせ先 / (公財)京都産業21 京都中小企業事業継続・創生支援センター TEL:075-315-8897 E-mail: keizoku@ki21.jp

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS
村田製作所

独自の技術やソリューションを通して「つくる人」を応援したい。そんな思いを10体のロボットにこめて村田製作所チアリーディング部をつくりました。たおれそうでたおれない、ぶつかりそうでぶつからない。村田製作所の高いセンサ技術と通信技術が生みだした、ちょっと不思議なパフォーマンスで世界中の「つくる人」を応援します。

フレ!フレ!つくる人。

受発注あっせん情報

受発注あっせんについて

- 本コーナーに掲載をご希望の方は、販路開拓支援グループ(TEL:075-315-8590)までご連絡ください。**掲載は無料です**
 - 本コーナーの情報は、京都新聞(毎週火曜日)及び北近畿経済新聞(毎月1日、11日、21日)にも一部掲載します。
- ※取引に関する交渉等は、双方の責任において行ってください。
 ※受発注に際しては、文書(注文書等)による取引確認を行ってください。
 ※お問い合わせの際に、案件が終了している場合もございますので、あらかじめご了承ください。

業種No.凡例

機:機械金属加工等製造業
電:電気・電子機器組立等製造業
織:縫製等繊維関連業種
他:その他の業種

発注コーナー

*あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

業種No	発注品目	加工内容	地域:資本金・従業員	必要設備	数量	金額	希望地域	その他の条件・希望等
機-1	精密機械部品	切削加工	南区 1000万円 56名	MC、NC旋盤、NCフライス盤他	話合い	話合い	不問	●運搬受注側持ち、継続取引希望
機-2	産業用機械・装置及びこれらに付随する部品	機械設計・電機設計(ソフト・ハード)、部品加工、組立、電気配線、配管、据付・調整	久御山町 2000万円 121名	CAD 部品加工機(旋盤、マシンングセンタなど)	話合い	話合い	不問	●継続取引希望
織-1	自動車カバー・バイクカバー・自転車カバー・タイヤカバー等	裁断～縫製～仕上げ	南区 1200万円 17名	関連設備一式	話合い	話合い	不問	●運搬片持ち、継続取引希望

受注コーナー

*あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

業種No	加工内容	主要加工(生産)品目	地域:資本金・従業員	主要設備	希望取引条件等	希望地域	備考
機-1	油圧ユニット設計製作	油圧ユニット製作(超省エネ・超低騒音)	伏見区 1000万円 18名	溶接機、スタッドボルトスポット溶接機、旋盤、セーバー機、曲板機、超省エネ油圧のサンプル機1台有り	話合い 継続取引希望 (単発発注も可)	不問	
機-2	精密機械加工、研削加工、金属プレス加工	鉄・アルミ・SUS・銅・真鍮	久御山町 1000万円 8名	MC4台、NCフライス1台、フライス盤3台、平面研削盤1台、精密成形平面研削盤1台、横型NCタッピングボール盤1台	話合い	近畿圏	試作、治具、単品も得意。小ロット・短納期にも対応可
機-3	設計・製造・設置・メンテナンス	表面処理設備 省力化/自動化装置 表面処理用パレール	南区 2000万円 14名	自社工場有、工場内クレーン 製缶・溶接、組立作業、PVC加工場	話合い	不問	自動化のご相談承ります
織-1	刺繍加工業	刺しゅう加工 刺しゅうワッペン 刺しゅう名入れ	舞鶴市 850万円 23名	刺繍機9台他	話合い	不問	単発取引可
織-2	手作業による組立加工	和雑貨、装飾小物(マスコット、ファンシー雑貨、民芸品)、菓子用紙器など	亀岡市 300万円 7名	ミシン、打ち抜き機(ポンス)	話合い	不問	内職150名～200名、機械化が不可能な縫製加工、紙加工の手作業を得意とする
他-1	HP制作・保守・運用、WEBシステム開発・保守・運用	WordPressテーマ、プラグイン開発 対応言語:PHP、Perl、javascript	中京区 200万円 2名	サーバー(Linux)2台、Windows/パソコン2台、Mac/パソコン2台、タブレット2台	話合い	京都府・大阪府・滋賀県・その他相談	WordPressを利用したWEBサイト構築
他-2	ラミネート・貼合加工	合成皮革基布、不織布貼、フィルム貼	左京区 1000万円 6名	コータロール、シュリンクサーファー	原材料支給	全国	条件面相談

●お問い合わせ先 / (公財)京都産業21 市場開拓支援部 販路開拓支援グループ TEL:075-315-8590 E-mail:market@ki21.jp



未来をはじめよう。

たとえば、枯れた大地をうるおす一滴のしずくのように。
 私たちは、ソリューションクリエイターとして
 世界が抱えるさまざまな社会課題の解決に挑みます。
 さあ、動き出そう。
 未来を変える答えを探そう。

株式会社 **SCREEN** ホールディングス
www.screen.co.jp



販路開拓
 企業連携
 産学入連携
 人材確保
 補助金
 設備導入
 創業・事業承継
 相談・専門家派遣
 経営革新
 経営全般他
 機械設計・加工
 材料・機能評価
 化学・環境
 電気・電子
 食品・バイオ
 表面・微細加工
 デザイン
 技術全般他

当技術センターでは中小企業の皆さんの技術基盤の強化や技術者の養成、新事業の展開等に役立てていただくため、各種研究会を開催しています。今年度で開催予定で、新たに会員を募集する研究会の概要をご案内します。各研究会の詳しい内容や新しい情報は、当センターのホームページやメールマガジンで逐次お知らせしていきます。ご興味のある研究会についてはお気軽にお問い合わせください。

ものづくり分析評価技術研究会

府内中小企業の技術者の方々が、現場で生きる体系的な分光分析技術を学ぶための場を提供することを目的に、講演と分析装置の操作実習を交えた形で例会を開催しています。

これまでに『赤外分光』『ラマン分光』『近赤外分光』をテーマとして実施し、3年目となる昨年度は製品開発や品質管理のあらゆる場面で不可欠の分析手段となりつつある『ラマン分光』に改めてフォーカスした内容で実施しました。

令和4年度は、最も身近な分光技術である『赤外分光』と最後の未開拓領域と呼ばれる『テラヘルツ分光』をテーマとして実施する予定です。

★こんな方におすすめです!

- 日常の業務で分光測定機器を使用している方
- 分光分析技術を幅広く習得したい方
- 他社の技術者と情報交換や交流をしたい方

・活動内容

- 1) 分光分野の第一人者を講師とする講演会(年3回程度)
- 2) 当センターの所有機器を用いた操作実習(希望者を対象)

・研究会座長 尾崎 幸洋氏(関西学院大学名誉教授・フェロー)

・年会費 1名 5,000円

・定員 20名程度

・申し込み・問い合わせ先 基盤技術課 材料評価係
TEL:075-315-8633 E-mail:zairyu@kptc.jp

※会員の募集開始は8月下旬を予定しています。
※(公財)京都技術科学センターとの共催事業として実施します。

京都光技術研究会(KPS)

京都光技術研究会(Kyoto Photonics Society)は、光技術を切り口として、企業連携による課題解決、新たな製品開発テーマの立ち上げを目的とした活動を行っています。

各企業の強みとなる技術を持ち寄ってグループ化を図り、共同開発から事業化を目指す「企業連携開発システムの実現」に取り組んでおり、企業連携による新製品開発を支援していきます。光に関連した技術をお持ちの企業や光技術と連携を考えている企業のご参加をお待ちしています。

★こんな方におすすめです!

- 光技術に関連することを幅広く習得したい方
- 光関連企業と連携を考えている方
- 他の企業、技術者と情報交換や交流をしたい方

・活動内容

- 1) 定例会(年8回) 外部講師による講演会、グループごとのミーティング、光技術のトレンド、ニーズの汲み上げ
- 2) グループ別技術検討会及び見学会(随時)
- 3) 交流会 会員間の連携を促進するための情報交換を目的とした交流会を開催(随時)
- 4) 光ものづくりセミナー
- 5) 展示会への出展 OPIE'18・19(横浜)、InterOpto2018(幕張)、2020(東京)、2021(東京)

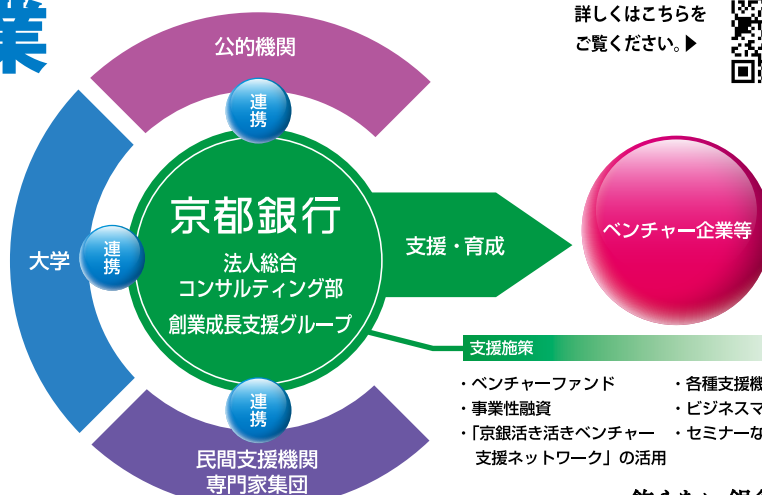
・運営体制 会長 山下 幹雄氏(北海道大学名誉教授)

アドバイザー 栗辻 安浩氏(京都工芸繊維大学教授)
田中 智子氏(同志社大学)
的場 修氏(神戸大学)

ベンチャー企業 支援業務の ご案内

業務内容

- ベンチャーファンドによる株式投資やご融資を通じて、事業資金のサポートを行います。
- 資金面の支援にとどまらず、公的機関・専門機関・大学等のネットワークである「京銀活き活きベンチャー支援ネットワーク」等を通じ、経営相談をはじめベンチャー企業のあらゆるニーズにお応えします。



詳しくはこちらを
ご覧ください。▶



飾らない銀行
京都銀行

- ・年会費 1社 20,000円(1社から複数人での参加が可能)
- ・申し込み・問い合わせ先
研究会事務局(応用技術課 電気通信係)
TEL:075-315-8634 E-mail:denki@kptc.jp

京都実装技術研究会

京都実装技術研究会は、接合・実装技術を中心に電子機器の生産性や信頼性向上をめざす勉強会として1987(昭和62)年に発足しました。発足直後はフロン廃止への対応を探る活動が大きなテーマとなり、その後も鉛フリー化に代表される有害物質規制(RoHS)への対応や、電子部品の微小化への対応など、その時々新たな課題を解決するため、勉強会などを開催してきました。今年度も、以下の活動を通じて様々な課題解決に向けて取り組んでいく計画としています。

★こんな方におすすめです!

- 実装技術に関して慢性的にお悩みの方
- 実装技術の情報を求めている方

・活動内容

- 1) 定例会(年5回) 業界の最先端をつかさどる方々にご講演いただくセミナーを開催。実装業界に関わる最新技術動向や課題解決へつながる幅広い情報を学びます。
- 2) はんだ付け実技講習会(年1回) 実装技術の基本となる手はんだ作業について、実技実習を開催。はんだ付けの原理から、こて先の選び方、難しいはんだ付けの対処方法などを学びます。

・年会費 本年度については無料

・申し込み・問い合わせ先

研究会事務局(応用技術課 電気通信係)
TEL:075-315-8634 E-mail:jisso@kptc.jp

デジタルマニファクチャリング研究会

※開催地は北部産業創造センター(綾部市)です
ものづくり現場は、設計から製造までのあらゆるプロセスに

においてデジタル化が進み、今後はデジタルデータの一元管理により、情報共有だけでなく商品の性能・機能検証や製造プロセスにおける課題の予防、製造現場からのフィードバック情報を設計に反映するためのシミュレーション等、「フロントローディング」の思想が主流となることが予想されます。

当センターでは、デジタルマニファクチャリング研究会を開催し、中小企業のものづくり現場におけるフロントローディング化を後押しします。

★こんな方におすすめです!

- 自社の課題にシミュレーションを使用したい方
- デジタルデータの活用を習得したい方
- 他の企業、技術者と情報交換や交流をしたい方

・活動内容

- 1) 高速開発支援CAE活用セミナー
CAEの基礎のセミナーから最新技術トピックスを紹介
- 2) ワークショップ
CAEやその周辺技術に関するワークショップを開催
- 3) CAE基礎トレーニング 毎週水曜日 9:00~17:00
・毎週水曜日は演習課題の自習用に会員様にCAEを開放。
・決められたモデルを使ってCAEのオペレーションを習得できるように進めます。
- 4) 中丹商品開発部(スピンオフ会)
・新商品の開発とCAEやデジタルツールの活用、異業種間の連携を促進するための検討会を2ヶ月に1回開催します。
・個々の企業の強みを活かし、繋げていくためのきっかけづくりを行います。

・年会費 無料

・申し込み・問い合わせ先 中丹技術支援室
TEL:0773-43-4340 E-mail:chutan@kptc.jp

上記のほか、製品開発企画研究会(北部産業創造センターで開催)、デジタル対応産業創出研究会(けいはんな地域で開催)を実施する予定です。

●お問い合わせ先/ 京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画連携係 TEL:075-315-8635 E-mail:kikaku@kptc.jp



一緒にうれしい
On Your Side

チームワークで
勝利を掴む!!

あなたの
創業・第二創業を
京都中信と日本公庫の
連携で強力に
サポート

当金庫ホームページにて商品概要およびチラシをご覧いただけます。
<https://www.chushin.co.jp/>

■ お問い合わせ先

京都中央信用金庫 地域創生部 地域創生課 フリーダイヤル ☎0120-201-959 (平日9:00~17:00)
日本政策金融公庫 京都支店 国民生活事業 ☎075-211-3230 (平日9:00~17:00)

お申込みに際しましては当金庫および日本政策金融公庫にて所定の審査をさせていただきます。審査結果によってはご希望に添えない場合もございますのであらかじめご了承ください。

当金庫独自の「京都中信 創業スタートダッシュ」もお取り扱いしております。詳しくは京都中央信用金庫本支店までお問い合わせください。

JFC 日本政策金融公庫 協調融資

スタートダッシュ・ツイン

🏦 京都中央信用金庫

JFC 日本政策金融公庫
国民生活事業

ご融資金額 **合計3,000万円以内**

ご融資期間 **運転資金/7年以内
設備資金/10年以内** + **所定の期間**

ご融資利率 **所定の利率(変動金利型)** **所定の利率(固定金利型)**

■ または下記へお問い合わせください

京都中央信用金庫 当金庫本支店およびFAXフリーダイヤル ☎0120-201-580 (24時間受付)
日本政策金融公庫 西陣支店 ☎075-462-5121 大津支店 ☎077-524-1656
国民生活事業 守口支店 ☎06-6993-6121 吹田支店 ☎06-6319-2061
奈良支店 ☎0742-36-6700

金利情報・返済額の試算等 詳しくは窓口まで

京都中央信用金庫
2022年2月1日現在

当技術センターでは中小企業の皆さんの技術基盤の強化や技術者等の養成、新事業展開に役立てていただくため、各技術分野のセミナーや講習会を開催しています。今年度を実施予定のセミナーは下表のとおりです。それぞれの詳しい内容や開催日時は決まり次第、当センターのホームページやメールマガジンでお知らせしていきます。

※メールマガジン受信のご登録は右記からいただけます。●https://www.kptc.jp/p_kankoubutsu/p_mandtnewsflash/



セミナー名	概要	開催時期 (予定)	担当
企業情報化支援セミナー	中小企業の情報化を支援するために、関連団体と連携して開催するセミナーです。情報システムを活用した業務効率化等のための最新技術や動向についての内容です。	6月、10月、1月	企画連携課 TEL:075-315-8635 E-mail:kikaku@kptc.jp
京都グッドデザイン戦略支援セミナー	デザインの活用を考えているが心配や不安のある経営者の方々を主な対象に、中小企業のデザイン導入事例等を紹介しながら独自の企業価値を高める「経営者にしかできないデザイン」を考えていただくセミナーです。	4月、9月、2月	
映像制作技術講習会	仕事の中で映像を利用した情報発信の機会が増えています。この講習会では初心者が失敗しがちな注意点をはじめ、本格的な撮影テクニック、機材選びから編集ノウハウまで実習を交えながら「映像技術の基礎」を学びます。	5月、6月、7月、 10月、11月、3月	
新規 機械設計基礎講座	機械設計者は設計から加工まで、広い知識が必要とされます。設計・製図に必要な材料・加工等の知識や寸法公差・幾何公差の知識について習得する講座を開催し、設計技術力の高い人材の育成を図ります。【詳細は右ページ】	7月、9月、11月	基盤技術課 TEL:075-315-8633 E-mail:kiban@kptc.jp
3D技術活用セミナー	三次元CAD、3Dプリンタ、3Dスキャナなど3D技術とその周辺技術の最新動向を紹介し、ものづくり企業の技術と製品開発力の向上、人材育成を支援するセミナーです。	7月、10月、2月	
ものづくり先端技術セミナー	ものづくり技術開発の高度化の促進を目的とした、新機能材料、表面処理技術、精密加工技術、計測評価技術等の先端的技術情報に関するセミナーです。	8月、10月、12月	
化学技術セミナー	新しい機能材料、加工技術、分析技術や国内外の化学物質規制などの情報を提供。また、RoHS規制等の国際的化学品規制や国内の環境関連法令への対応を支援します。	7月、11月	
電磁波技術セミナー	5G通信などのマイクロ波・ミリ波や電磁ノイズ対策(EMC)など、電磁波に関する様々な技術に関するセミナーです。これらの技術を用いた製品や技術開発をされている方、これから取り組もうとされている方を主な対象に開催します。	5月、6月、9月、 10月、12月、2月	応用技術課 TEL:075-315-8634 E-mail:ouyou@kptc.jp
光ものづくりセミナー	光関連技術分野の製品開発を行っている企業や、これから新規分野に進出を図りたいと考えている企業を対象に、光関連技術のトレンドや話題の提供を行うセミナーです。	9月、12月	
実装技術スキルアップセミナー	電子部品等の実装において、各社の課題となっている事象の解決を目的として、現場にて実装作業に従事されている方を対象に、はんだ付け技術の基礎から具体的な実習をメインにしたセミナーです。	12月	
食品・バイオ技術セミナー	食品・バイオ関連技術分野の製品開発・製造・販売を行っている企業を対象に、「新しい食品・バイオ技術」、「食品市場動向から見る技術開発の方向性」等の新しい技術情報を提供します。【詳細は右ページ】	7月、10月、2月	中丹技術支援室 TEL:0773-43-4340 E-mail chutan@kptc.jp
表面技術セミナー	表面処理技術や評価技術、話題となっている製品、材料、加工技術等に関する幅広い情報の提供や大学等の研究シーズの発信を行うとともに、企業連携につながる研究テーマの発掘を目的としたセミナーです。	9月、3月	
IoT実習セミナー	デジタルトランスフォーメーション(DX)を進める上で欠かせない、電子部品をコントロールするために必要な基礎知識とプログラミングを、参加者自らがPCと試作ボードを使って学ぶ、実習中心のセミナーです。	9月～12月	
機器操作・活用セミナー	中小企業の技術者自らが当センター中丹技術支援室の機器類を操作、活用するとともに、より多くの評価を行い、生産現場での問題解決の幅を広げることができるようにする実習形式のセミナーです。	9月～12月	
工業技術研修	基礎技術力を高めて地域の若手技術者の養成を図るため、当技術センター中丹技術支援室の機器類を実際に操作して実施する研修。機械科コースと電気科コース(各37回)があります。(一社)綾部工業研修所(事務局:綾部商工会議所 TEL:0773-42-0701)の主催。	7月～	中丹技術支援室 TEL:0773-43-4340 E-mail chutan@kptc.jp
新分野進出支援講座	中小企業の新分野への進出や展開を支援する講座。エネルギー、環境、健康、福祉などの分野を中心に、最新情報、取り組み事例、大学のシーズの紹介等を行います。	12月、2月、3月	
品質管理(QC)講座	ものづくりの現場における生産管理力の向上と、製品の信頼性向上のために重要な品質管理の知識を習得する講座です。QC検定3級レベルの基礎コースと、2級レベルの上級コースを開催します。	6月～8月	
産業人材育成基礎講座	中丹地域に立地する企業の技術者を対象にした、基礎的な知識を体系的に学べる講座です。本年度は表面処理技術に関する講座を開催します。	5月～9月	
京都大学宇治キャンパス産学交流会	京都大学宇治キャンパスにある4研究所(化学研究所、エネルギー理工学研究所、生存圏研究所、防災研究所)との産学交流会です。	6月、9月、 12月、2月	
けいはんな産学交流会	(公財)京都産業21との共催により、けいはんな学研地域に立地する企業の若手研究者の人材育成を目的に、大学、研究機関との交流会を開催します。	9月	

■今年度に開催する技術セミナーから

幅広い知見で設計技術力を高める

機械設計基礎講座

思い描いた「機械」を実際に形にしていくときに重要な役割を担うのが機械設計者です。まず「どんな機械にしようか」という概念設計に始まり、基本設計、詳細設計、そして最終的には生産設計、つまり工場などで生産できるよう具体的な寸法や材質、使用する部品、加工や組立の方法などを記載した設計図に仕上げていきます。そこでは従来の設計・製図技術にとどまらず、強度や安全性、費用や納期、さらには環境に及ぼす影響、そして市場や世の中のニーズの把握など幅広い知識や視野が必要になります。



講座内容の一例です。

そのための基礎となる知識習得の場として、設計製図に必要な寸法公差、幾何公差や材料、加工方法等を内容とする講座を開催し、設計技術力の向上を支援します。

●問い合わせ先／基盤技術課 設計計測係

TEL:075-315-8633 E-mail:kiban@kptc.jp

食の未来がどう変わるか考える

食品・バイオ技術セミナー

このセミナーは食品等に関わる技術的課題について様々な角度から検討するとともに、関連する技術情報の提供を目的に

実施しており、昨年度からは「食べること」自体に焦点を当て、中期的スパンで継続して開催しています。最初はまず代替肉や培養肉、昆虫食、3Dフードプリンタ、完全自動調理ロボットなど最新のフードテックの状況を知り、それらの進化予測について知見を深め、次に我々がいつも感じている「あじ」は、においや見た目、食感の影響が大きいこと、そして人間は初めて接する食品には拒否的行動(新奇性恐怖)を行うこと、その上で昆虫を初めて食べる際に心理的ハードルを下げるための戦略などについて考えました。

講師との質疑応答やアンケートの回答などで参加者の方々が興味をお持ちの分野や技術、課題などをお聞きし、今年度はさらに関連企業へのヒアリング等を行って府内食品産業のニーズの把握に努め、食のさらなる工業化、デジタル化、DX化によって食の未来がどう変わっていくのか、どのようなビジネスが生まれるのかを考えるセミナーを企画、実施していく予定です。最終的にはこれからの「食」に関する技術について皆さんと一緒に考えていく研究会を立ち上げ、新たな支援施策の構築や支援体制の強化を図っていきます。

実はこのセミナーは当センターの中期事業計画の中で「待ちの組織から、導ける組織へー企業ニーズに即したソリューションの提供」をコンセプトに、所内横断的プロジェクトとして取り組んでいるものです。食品担当だけでなく機械、設計、化学、電気、デザインとプロジェクトメンバーそれぞれの専門と個性を活かし、多角的な視点でポストコロナ、ウイズコロナを見据えた食品産業の新たな課題を見出し、新規事業を提案しようとするものです。一緒になって考えよう、研究しようと思われる方はぜひご連絡ください。

●問い合わせ先／応用技術課 食品バイオ係

TEL:075-315-8634 E-mail:ouyou@kptc.jp

●お問い合わせ先／京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画連携係 TEL:075-315-8635 E-mail:kikaku@kptc.jp

— 想いをむすび、地域をゆたかに —

京都信用金庫

京信

ソーシャル・
グッド預金

Kyoshin Social Good Deposit

“世の中を少しでも良くしたい”という預金者の想いを6つのテーマに乗せて企業に託し、今も未来も安心して過ごせる地域をとともに創るための預金です。

S 認証

ESG経営や社会課題の解決を目指す企業の評価・認証を行い、**企業活動の社会的インパクトをみえる化する**制度です。社会課題に取り組む地域企業の成長を支えます。

京都信用金庫は、地域社会におけるソーシャルマインドの醸成及び持続可能な地域社会の実現を目指します。

デジタルものづくりが一般化し、設計段階において行われる解析シミュレーションでは、使用する材料の機械的特性値の設定が必要となります。近年では3Dプリンター成形材や複合材料など新たな材料の使用が広がり、それに付随する様々な測定ニーズに応えるため、令和3年度JKA機械工業振興補助事業により「万能材料試験機(30kN)」を導入しました。

この試験機では、引張試験・圧縮試験・曲げ試験といった試験が可能で、プラスチック・ゴム・繊維・金属など各種材料の強度試験、製品の品質管理にご利用ください。



《今回の導入機器の特徴》

恒温槽



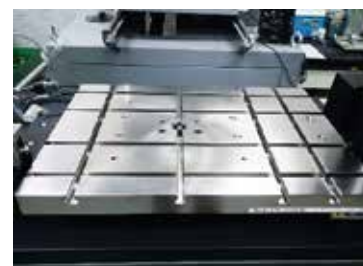
-40℃から+250℃までの温度環境下での試験が行えます。

ビデオ伸び計



フィルムなど、接触式伸び計が使用できないサンプルの伸び測定が可能です。

T溝付き定盤



様々な形状の試験体を固定できるワイドな定盤を装備。
 ※個別の固定治具は、利用者でご準備ください。

装置仕様

万能材料試験機 68TM-30E2F2型 (インストロンジャパン カンパニイリミテッド製)

性能	ロードセル	30kN、1kN(精度±0.5%以内)
	試験速度	0.001 ~ 1,000mm/min
	クロスヘッド移動量	1,605mm
	有効試験幅	947mm
	恒温槽温度範囲	-40℃ ~ +250℃
	T溝付き定盤	W700×D500mm

併せて様々な測定・解析に対応するため、次の機能も備えています。

- ・非接触式3次元ひずみ・変位測定システム (3D-DIC)
 (Correlated Solutions製 VIC-3D)
- ・ハイスピードカメラ (フォトン製 FASTCAM Nova S6)



本体フレームは、エクストラハイト・エクストラワイドの特注仕様です。



導入機器の機能を紹介する3本の動画を配信しています。ぜひご視聴ください。

- ◇ 万能材料試験機本体 (映像制作：インストロンジャパン カンパニイリミテッド)
- ◇ 非接触式3次元ひずみ・変位測定システム(3D-DIC) (映像制作：(株)レーザー計測)
- ◇ ハイスピードカメラ (映像制作：(株)フォトン)

日本人の生活に根付き、日本の文化を支えてきた工芸の品々。ここには日本人の感性が選び、それを実現するために職人が磨いてきた技術が結晶しています。

日本の工業製品は20世紀後半、卓越した技術力と性能で世界のプロダクトをリードしてきました。しかし21世紀に入り、優れた加工機械の普及・導入により、多くの分野で日本製品の優位性は失われています。そんな中、新しい価値を磨こうと、伝統工芸に用いられる表現や技術を追求し、工業製品に落とし込もうとする動きが出始めています。

工芸と工業

工芸と工業、直感的には伝統的に昔から作られ使われてきたもの、手作業で作られてきたものを「工芸」と呼び、機械生産、大量生産により生み出されるものを「工業」と呼んで、対比的な使い方をされることも多いようです。

工芸という言葉辞書で引くと概ね「実用品」「日常生活の用に供されるもの」を作ること—というような説明がなされており、併せて「美的価値」という言葉が付されることが多いようです。また、誰もが無意識に「伝統」という修飾語を付してしまうことからわかるように、「昔からの技術・技法」「手工業的技術」という意味も込められがちです。

一方の工業は「原料を加工」して「価値ある生産物」を製造する「=製造業」と説明されており、機械生産=工業というわけではなく、実際には機械生産の工芸品もあるし、手作業が生み出す工業製品もあり、その境界は曖昧ということがわかります。

あえて区別するなら、昔から生活の中で使われていて、今も作られているもので「美的価値」の評価が高いものが「工芸」と言えるかもしれません。

工業製品の今

20世紀後半、それまで卓越した技術力と性能で世界のプロダクトをリードしてきた日本の工業製品は、優秀な技術者に対するヘッドハンティングと大胆な設備導入を武器にその力を強めてきたアジア諸国の猛追を受け、21世紀に入ると性能で追いつかれ、価格で追い抜かれ、その競争力を失ってきました。

早い段階でその兆候を感じていた企業も多くあり、前世紀終盤から今世紀初頭にかけては「日本企業としてのアイデンティティ」を模索する動きが各所で見られました。

中でも注目されたのは19世紀後半にジャポニズムと呼ばれ世界で高い評価を受けた日本美術であり、それに伴って広がった工芸品です。しかし、「漆塗りの〇〇」や「伝統柄を使った〇〇」といった伝統のイメージを現代のプロダクトに持ってくるに留まり、これこそ新しいジャポニズムと呼べそうなものはなかなか現れてはいません。

すでにある日本の良さ

では、日本の工業製品の力は失われたのでしょうか。

個人的な話ですが海外に行くときとりあえず一度はその土地のスーパーストアに足を運びます。各国にはその地の空気のようなものがあり、日常で使われている品物にはその国独特の魅力があ

るためです。食料品のパッケージも魅力的だし、日用品や家具などもそれぞれの国の特徴があって面白いものです。

ところが、そんなときに「あ、これいい!」と思って手に取ったものがMade in Japanであることが、結構な割合であります。店頭で手に取ったものなので、使ってみての感想ではないのですが、他の商品よりも「出来が良い」と感じさせられてしまうのです。

そんな時には何人かの伝統工芸の職人さんの顔が思い浮かびます。京漆器の職人さんは「自動車の塗装は素晴らしい。自分らの技術ではあんなに広い面積をあれだけ美しく仕上げるのはとても無理や。あんな風に漆を塗りたい」と話しておられました。

そして今、その方の工房では伝統的な道具類とともに、巨大な塗装ブースとエアブラシが当たり前と並んでいます。

また絞り染めのある職人さんは「師匠に、『丁寧に勝る技術無し』って教えられたさかいな」と言われていました。

他の国で見つけた魅力的なMade in Japanは工業製品ではあるのですが、どうやら伝統工芸の職人さんのような「ていねいな仕事」がその魅力を生み出しているのではないのでしょうか。

学ぶ、保持する、体感する。

当センターで支援している新工芸研究会は、様々な分野の伝統工芸関連企業が集まり新たな京都工芸の創造につなげる研究を行っています。ここ数年、ある製造業の企業と共に「次世代コンセプトモデル」に取り組んできました。第1弾ではすでにある現行商品を伝統工芸の技術で「加飾」。第2弾では工業製品で使う「素材」はそのままに、それを伝統工芸の技術で加工し、「素材の新しい可能性」を追求しました。

この取り組みは主に企画・デザイン部門が中心となって進めたプロジェクトですが、製造部門にとって、伝統工芸の「より美しく見せるための工夫」、傷や汚れ、変質などの「変化することを見越した配慮」といった職人の技術と心意気で実現されているものが素材の新しい可能性への気づきに繋がり、この企業では伝統産業の技術や美意識を現代の加工技術ではどのように昇華すればいいか真剣に考えているそうです。

日本の工業製品には無意識のうちに日本人らしさがにじみ出ていますが、他との競争の中で「安く、早く、簡単に」あるいは「高性能・高品質」が重視され、次第に失われているように感じます。もう一度、工芸の中に長い年月をかけて蓄積されている、日本人が感じる美しさ、上質さ、そしてそれを生み出す「ていねいさ」を見つめ、思い出すことが必要に感じます。

当技術センターでは、利用者の皆さまを対象に、利用目的や満足度、ご要望などについて伺う「利用者窓口アンケート」を実施いたしました。集計結果の概要をお知らせします。

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。今後の事業展開や業務改善に役立てていきます。

調査対象

令和3年11月8日から令和4年1月14日の間に「技術相談・依頼試験・機器貸付」のいずれかを利用された方

回答数 148件

調査結果(概要)

回答者の所属事業所を所在地別に見ると、京都市内57社、京都府内(京都市除く)は47社、京都府外は43社でした(図1)。

事業所の業種は、製造業が83%と最も多く、サービス業3%、卸売業・小売業3%、その他・不明11%でした。製造業の内訳は化学・プラスチック・ゴム製品がもっとも多く鉄鋼・金属製品、電気機械・電子部品、汎用・生産用・業務用機械、と続きました。

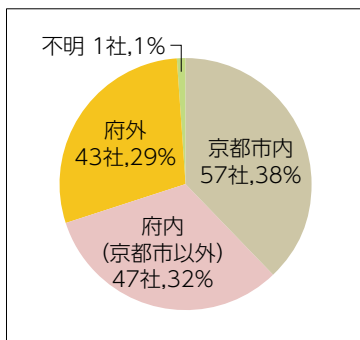


図1 所属事業所の所在地

今回利用の支援内容と満足度

機器貸付の利用が最も多く、84%でした。技術相談は、機器貸付や依頼試験と併せての利用を含めて、38%でした(図2)。

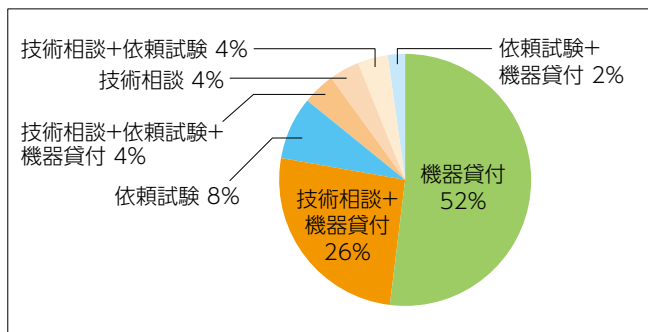


図2 ご利用いただいた支援内容

支援の満足度については、接客対応95%、手続きの迅速性93%、支援レベル93%、得られた成果87%でした。

職員の対応について良いと感じ

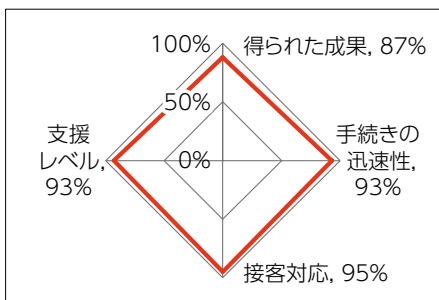


図3 ご利用の満足度

られたところを尋ねたところ、説明の分かりやすさ78%、アドバイスの的確さ47%などとなりました(図4)。

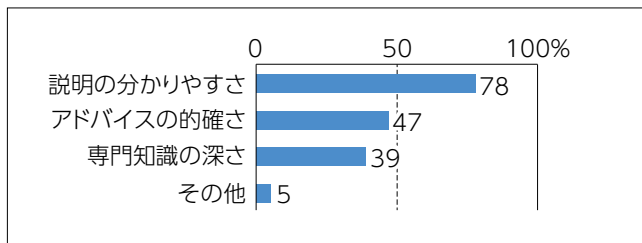


図4 職員の対応について良いと感じられたところ

他の支援機関の利用

今回と同様の支援が必要な場合に利用される他機関を尋ねたところ、府外公設試が38%と最も多く、京都市産業技術研究所26%、府外民間試験研究機関22%と続きました。府県を越えて公設試を利用されていることがうかがえます(図5)。

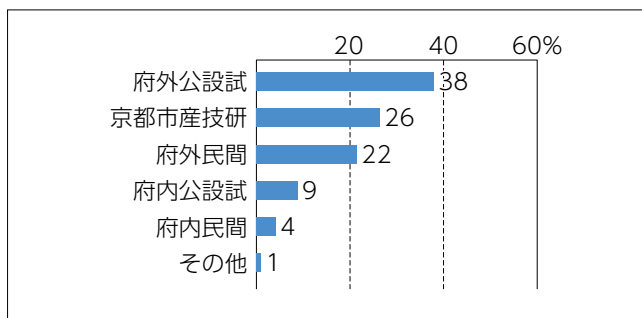


図5 利用される他の支援機関

意見・ご要望

当センターに強化・充実を求められることを尋ねたところ、機器利用が80人と最も多く、技術相談55人、試験分析45人、セミナー・講習会29人と続きました(図6)。

自由記述には、機器の導入や機能拡充・修理、機器利用時の支援についての要望等がありました。

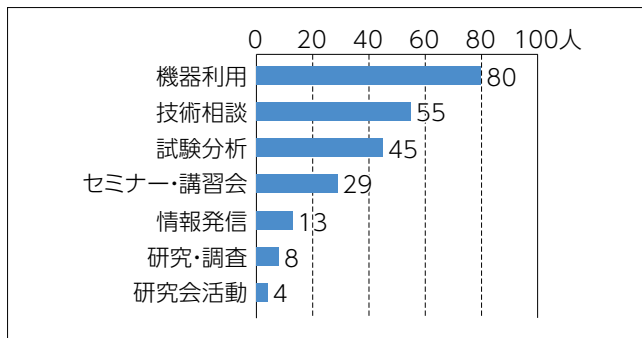


図6 強化・充実を求められること

京都発明協会からのお知らせ

京都発明協会では、中小企業等の知的財産の創造・保護・活用の促進を目的に各種無料相談事業による支援を行っています。知的財産権に関する相談について、京都府在住または勤務されている方、どなたでも相談可能です。

INPIT京都府知財総合支援窓口<独立行政法人工業所有権情報・研修館>

実施:一般社団法人京都発明協会

「知財総合支援窓口」では、特許や商標など知的財産に関する様々な悩み・課題について幅広く相談を受け付け、窓口で常駐する知財相談員のほか、知財専門家(弁理士・弁護士等)や関係する支援機関と連携して解決に向けたアドバイスを無料で行います。

◆開設場所/相談日時 事前予約制

場 所/京都発明協会 相談室
日 時 月曜日～金曜日
(土日祝日、お盆休み、年末年始を除く)
9:00～12:00 & 13:00～17:00

場 所/京都経済センター
(窓口/JETRO京都・京都海外ビジネスセンター)
日 時 毎月第2、第4水曜日 13:30～16:30

◆府内巡回窓口「知的財産相談会」:毎回午後開催

日 程 5月20日 宇治市産業振興センター
6月 3日 亀岡商工会議所
6月17日 京都産業21北部支援センター
7月15日 福知山商工会議所

◆相談予約先

INPIT京都府知財総合支援窓口(京都発明協会)
TEL075-326-0066(窓口直通)

京都府知的財産総合サポートセンター<京都府委託事業>

実施:一般社団法人京都発明協会

京都府知的財産総合サポートセンターは、平成19年4月1日に施行された「京都府中小企業応援条例」に基づいて、府内中小企業の知的財産の創造・保護・活用の促進を目的に、京都府と京都発明協会が共同で運営している機関です。京都府中小企業技術センター、公益財団法人京都産業21、京都海外ビジネスセンター、JETRO京都等と連携し、知財・技術・経営支援のワンストップサービスを実施しています。

[相談無料] [秘密厳守] まずは京都発明協会までお申込みください。TEL:075-315-8686

※いずれも、事前予約制です。相談時間は原則1時間以内とさせていただきます。

知財アドバイザーによる知的財産相談会

特許や商標など知的財産に関する様々な悩み・課題について幅広く相談を受け付け、窓口で配置する知財アドバイザーのほか、知財専門家(弁理士・弁護士等)や関係する支援機関と連携して解決に向けたアドバイスを無料で行います。

- 場 所 京都発明協会 相談室
- 日 時 毎週月・水曜日、毎月1回 第1金曜日 9:30～12:00、13:00～16:30(祝祭日、お盆休み、年末年始を除く)

弁理士による知的財産相談会

知財の専門家である弁理士が、特許・商標等の出願から権利取得に至るまでの手続、類似技術や類似名称の調査、ライセンス契約、海外展開における注意点等の知的財産全般について無料でご相談に応じます。

- 場 所 京都発明協会 相談室(相談時間13:00～16:00)
- 日 程 4/27 5/11、18、25 6/1、15、29 7/6、20、27

前日(閉館日を除く)の16:00までにご連絡ください。

弁護士による知的財産相談会

知財を専門分野とする弁護士が、自社製品の模倣品が出回った際の対策、知的財産に関する契約への助言、侵害警告を受けた場合の対応、知的財産を巡る訴訟、権利活用上の留意点等の知的財産に関する問題について無料でご相談に応じます。

- 場 所 京都発明協会 相談室(相談時間13:00～16:00)
- 日 程 5/6 6/3 7/1

前日(閉館日を除く)の16:00までにご連絡ください。

相談会の年間スケジュールを京都発明協会HPまたは、右記QRコードからご覧いただけます。▶



申込み、お問い合わせ先

一般社団法人 京都発明協会 TEL:075-315-8686 FAX:075-321-8374 (<https://kyoto-hatsumei.com/>)
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都リサーチパーク内 京都府産業支援センター2階

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画連携係 TEL:075-315-8635 E-mail:kikaku@kptc.jp

補助金事業のご案内

①「産学公の森」推進事業

- 募集期間：令和4年4月11日(月)～5月31日(火)
 - 支援規模：Ⅰ アーリーステージコース:1グループあたり120万円以内
Ⅱ 事業化促進コース:1グループあたり100～2,000万円
Ⅲ 本格的事業展開コース:1グループあたり2,000～5,000万円
- ※詳細は、こちらをご覧ください。<https://www.ki21.jp/kobo/r4/mori/index.html>



②次世代地域産業推進事業

- 募集期間：令和4年4月11日(月)～5月31日(火)
 - 支援規模：1,000万円以内
- ※詳細は、こちらをご覧ください。<https://www.ki21.jp/kobo/r4/jisedai/index.html>



③危機克服対応ビジネス創出支援事業

- 募集期間：令和4年4月11日(月)～5月16日(月)
 - 支援規模：500～5,000万円
- ※詳細は、こちらをご覧ください。<https://www.ki21.jp/kobo/r4/kiki/index.html>



中小企業等緊急相談窓口の設置

長期化するコロナ禍やウクライナ情勢等の影響で、経営リスクが増大している中小企業等の相談に対応するため、「中小企業等緊急相談窓口」を設置しています。

- 設置期間：令和4年3月22日(火)～9時～17時
- 相談方法
 - ・窓口相談：原則、電話メールでの対応
 - ・電話：075-341-0015
 - ・メール：okyaku@ki21.jp
 - ・FAX：075-315-9091

※詳細は、こちらをご覧ください。

<https://www.ki21.jp/kobo/r3/soudan/>



お知らせ

公益財団法人京都産業21では、当財団が存続法人となり令和4年4月1日付で、一般財団法人京都府中小企業センターを合併いたしました。

このセンターは、1974年に設立され、旧「京都府中小企業会館」の管理運営を中心に、京都府域の中小企業支援を担ってこられた大変歴史のある財団です。当財団では、このセンターにかかわってこられた方々の思いや活動の蓄積をしっかりと受け止め、今後、必要な事業を継承・実施してまいります。

京都府中小企業技術センター トピックス

京都府中小企業技術センター
事業運営懇談会を開催しました

いただいたご意見を活かして、
これまで以上に
「頼りになる中セン」をめざします。

京都府中小企業技術センターでは、当センターの事業運営全般について、産業界や学識経験者等外部有識者から意見・助言をいただく事業運営懇談会を平成20年度から開催しています。令和3年度の懇談会は、2月24日に開催しました。

懇談会では、職員の人材育成や技術継承の重要性について、また、公設試として保有すべき機器の整備の必要性など、幅広くご意見をいただきました。今後のサービスの向上に活かし、よりお役に立ち、「頼りになる中セン」となるよう努力してまいります。



【ご意見・ご助言をいただいた方々】

- 岡田 博和 様/TOWA株式会社 代表取締役社長
- 小島 望 様/コフロック株式会社 代表取締役社長
- 砂崎 達哉 様/株式会社砂崎製作所 代表取締役社長
- 瀬川 晋弘 様/旭光精工株式会社 代表取締役社長
- 今谷 勝次 様/京都大学大学院 エネルギー科学研究科 教授
- 橋本 雅文 様/同志社大学 理工学部インテリジェント情報工学科 教授
- 岡本 圭司 様/公益財団法人京都産業21 専務理事
- 本永 治彦 様/公益社団法人京都工業会 専務理事

詳細はホームページに掲載しています。 <https://www.kptc.jp/jouhou/kondankair3/>

●お問い合わせ先/ 京都府中小企業技術センター 企画連携課 TEL:075-315-8635 E-mail:kikaku@kptc.jp

京都府産業支援センター

<http://www.kyoto-isc.jp/>
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134



2022年4月25日発行
年4回発行

公益財団法人 京都産業21 <https://www.ki21.jp>

代表 TEL 075-315-9234 FAX 075-315-9240
 北部支援センター 〒627-0004 京丹後市峰山町荒山225
 TEL 0772-69-3675 FAX 0772-69-3880
 けいはんな支所 〒619-0294 関西文化学術研究都市(京都府 精華・西木津地区) KICK内
 TEL 0774-95-2220 FAX 0774-66-7546
 KICK TEL 0774-66-7545 FAX 0774-66-7546
 京都経済センター支所 〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町78
 TEL 075-708-3333 FAX 075-708-3262



京都府中小企業技術センター <https://www.kptc.jp>

代表 TEL 075-315-2811 FAX 075-315-9497
 中丹技術支援室 〒623-0011 綾部市青野町西馬場下33-1 北部産業創造センター内
 TEL 0773-43-4340 FAX 0773-43-4341
 けいはんな分室 〒619-0294 関西文化学術研究都市(京都府 精華・西木津地区) KICK内
 TEL 0774-95-5050 FAX 0774-66-7546

